

ロンドンで入賞を

金沢大学五輪代表5選手の壮行会



激励の花束を受け、決意を新たにするとする5選手。金沢エクセルホテル東急

金沢学院大学からロンドンオリンピックに出場する中川真依（水泳女子高飛び込み）、嶋本麻美（ウエイトリフティング女子75^{kg}超級）、八木かなえ（同53^{kg}級）、伊藤正樹（トランポリン男子個人）、岸彩乃（同女子個人）の壮行会は6月9日、金沢エクセルホテル東急で行われ、各選手はメダル獲得、自己ベストなどロンドン五輪での目標達成へ決意を新たにしました。



記者会見に臨んだ（左から）中川、嶋本、伊藤、八木、岸の各選手

壮行会には、学内外の本学関係者、教職員ら350人が出席しました。5人の選手に先輩、後輩の部員らから激励の花束が贈られたあと、飛田秀一理事長Ⅱ写真Ⅱが挨拶

金沢学院大学・短期大学の進学説明会は6月4日から8日まで、七尾、福井、高岡、金沢、富山の5会場で開催され、高校の進路指導教員らに奨学生制度、教育方針、就職支援など本学の取り組みを説明しました。

5会場で進学説明会

このうち、7日の金沢会場には、石川県内の26校の教員が訪れました。榎本裕学長は、「何事にもやってみよう、と言える積極的で挑戦する心構えを持った学生を育てる」と強調しました。中西一夫副学長が、学科名変更、アドミッションポリシー、奨学金、キャリア教育、女子寮などについて説明しました。

記者会見で意気込み

5選手は壮行会に先立つて同ホテル内でそろって記者会見に臨み、それぞれ「楽しみながら最高の演技を見せたい」「メダルを取りたい」などと意気込みを語りました。



挨拶で「けがをしないように注意して、本番では自己ベストを目指し、ぜひ入賞以上の成績を上げてほしい」と激励しました。来賓の谷本正憲石川県知事、山野之義金沢市長が祝辞を贈りました。

60周年で100万円寄付

金沢学院東高校の同窓会星美会はこのほど、創立60周年記念のお祝い金として100万円を清鐘台基金に寄付しました。

斎藤千佳子会長、清水美智子副会長、畠初美会計の3人が来校し、木谷辰夫校長に「益々の発展に役立ててほしい」と目録を手渡しましたⅡ写真Ⅱ。60周年記念式典は6月14日、金沢市の石川県立音楽堂で行われました。



17日にオープンキャンパス 金沢学院大学・短期大学の2012年第1回オープンキャンパスは6月17日開かれます。学部・学科説明、見学、相談会などを予定しています。